

新興木構造による東京府立 第十高等女學校屋内體操場

東京府營繕課長 天 羽 馨

府立第十高等女學校屋内體操場新設に際し此れまで有識者の間に段々と問題となりつゝ、あつた「ヂベル」金物に依る接合法を採用し、耐風耐震の合理的設計を斷行する事と定めた。ところが設計に着手するや、月島の萬國博覽會々場も同様「ヂベル」構造採用と定まり、圖らずも時を同うして新興木構造への良き道連れとなつたと思ふのも束の間、萬國博は時局に鑑み中止となり設計のみに終つたが、此の間第十高等女學校屋内體操場のみ故障なく獨り完成を見る事となつた。(實は府立大泉師範學校屋内體操場も同型で同時に落成した)

構造形式は二鉸式アーチ、耐風計算は最大風壓 80kg/m^2 で、風下の吸引力をも考慮、接點の「ヂベル」は試験片による試験の結果、

一對で2tonの應力傳達可能を確めた。結局實施の結果は坪當りにして使用木材の材積も、大工手間も、金物も、在來のものに比し大差なき程度で出来る事を確め得た事は、我々を更に勇氣付けるものがあつた。

次に工事の概要を示す。

位 置	東京府豊島區千川町
構 造	木造平家建一部中2階外に約130平方米のテレス共
建 築 面 積	567平方米(梁間17.3m桁行33.0m)
同 延面積	663平方米
起 工	昭和13年7月11日
竣 工	昭和13年12月14日
總 工 費	31,000圓
設計並監督	東京府營繕課

圖1. 各部ヂベル詳細

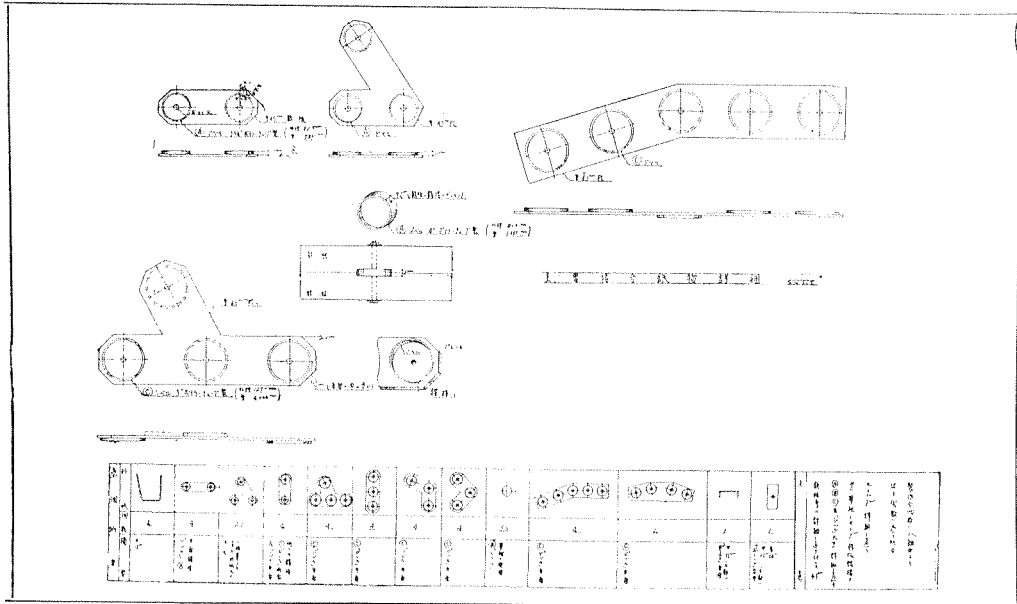
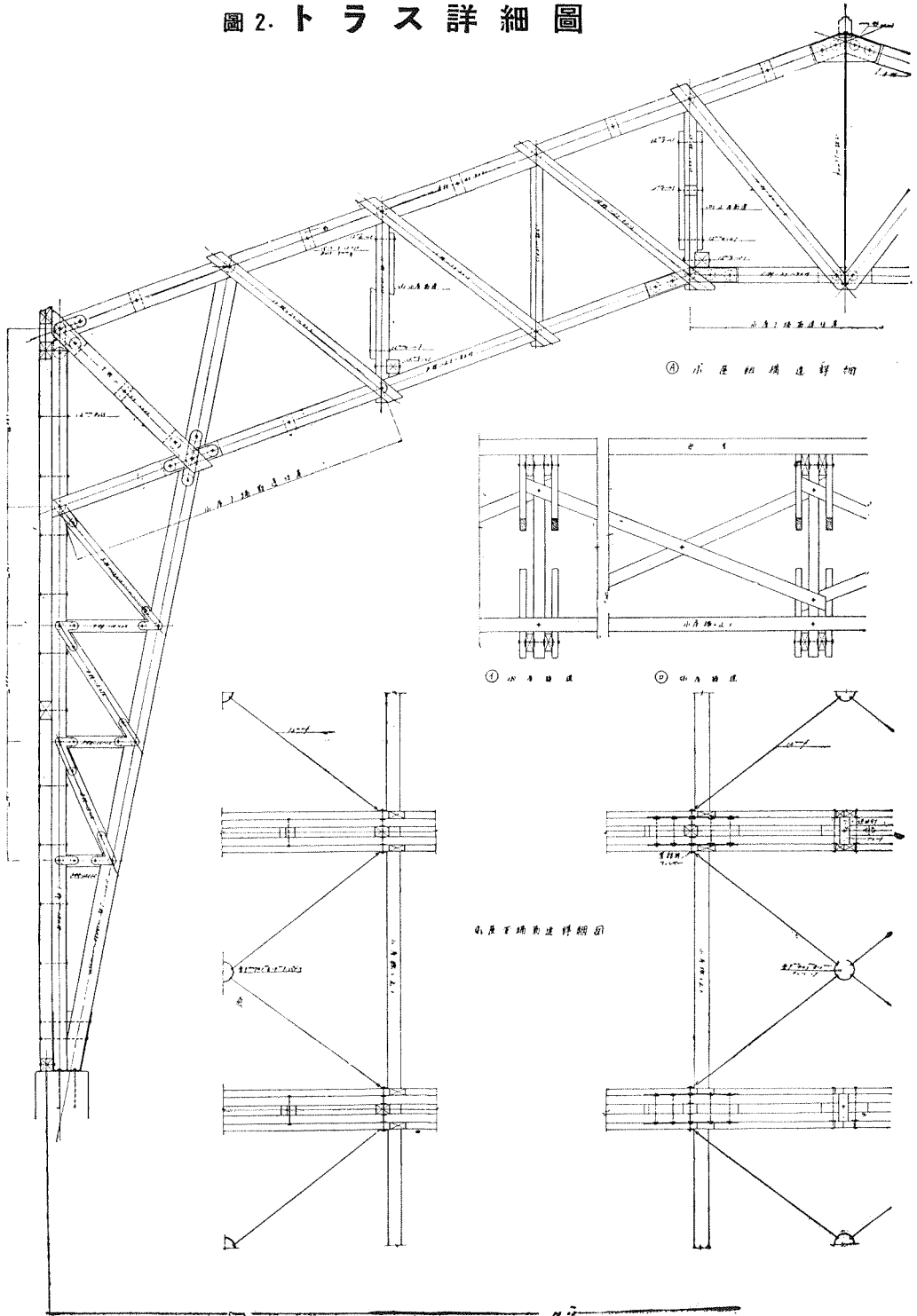
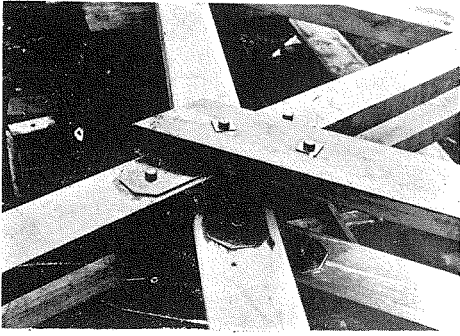
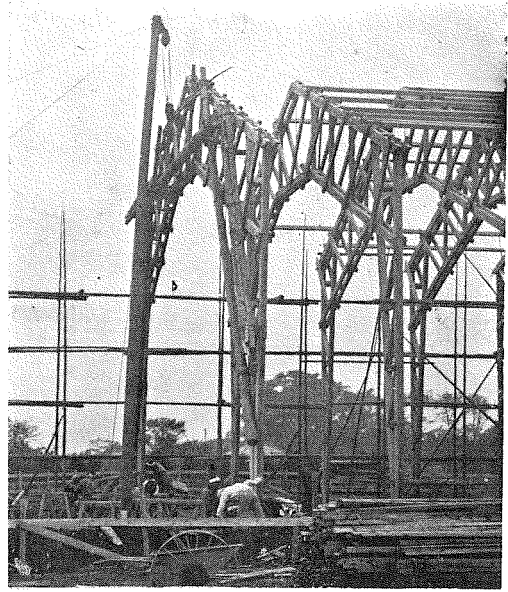


圖 2. トラス 詳細 圖

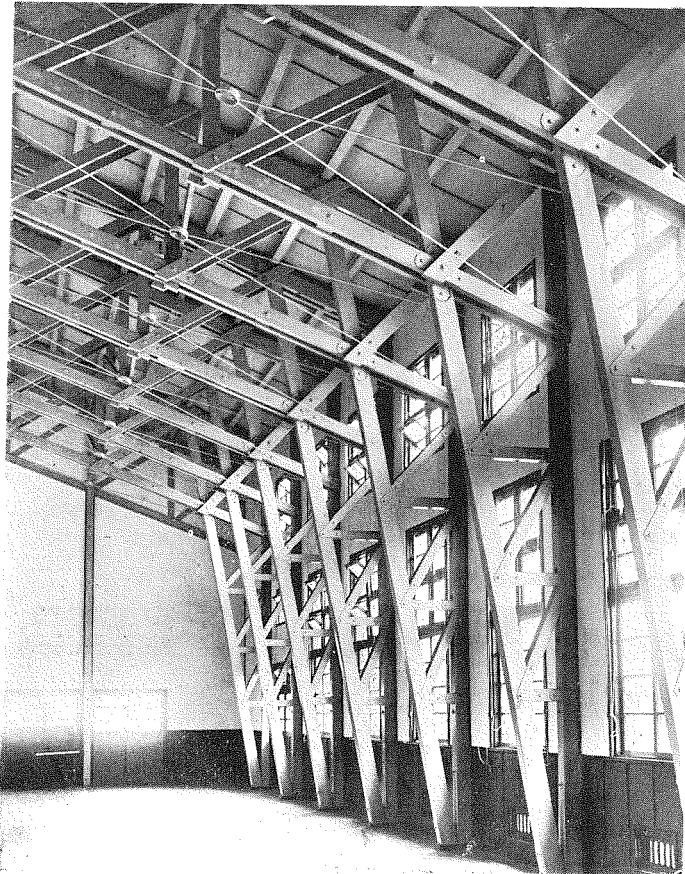




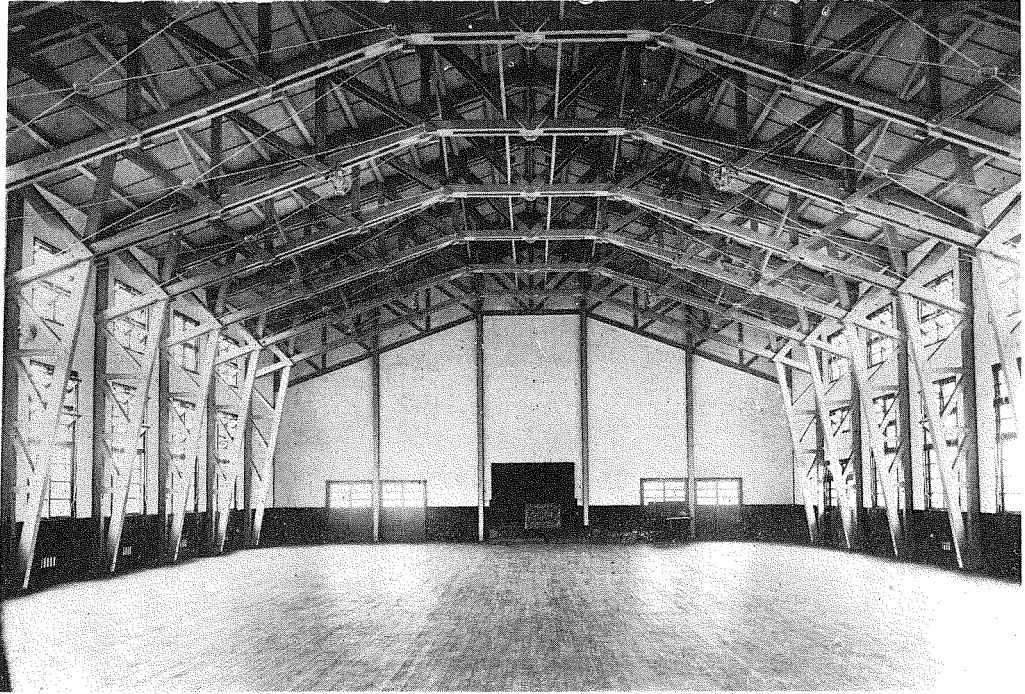
寫眞1. 組立細部。



寫眞2. 組立中。



寫眞3. 內部近寫。



寫眞4. 内 部。

寫眞5. 外 景。

